

News Letter 2025年10月号

借入金の利息の計算方法とは？ シミュレーションでの利息や返済金額の 注意点を解説



経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

- 1 金利と利息の違い
- 2 利息の計算方法について
- 3 借入金の返済方法
- 4 金利や利息における注意点
- 5 ツール活用の際の注意点

① 金利と利息の違い

「利息」とは、お金の貸し借りにおいて、借りた人が貸した人へ支払う対価(レンタル料)を指し、借りた金額に応じてさまざまな割合で支払います。

このとき、借りた金額に対してどれくらいの割合で利息(利子)が発生するのかを表すのが「金利」です。通常はパーセント(%)で表記します。

用語	定義	例
金利(利率)	借入金額に上乗せされる金額の割合です。	金利3%なら1年あたり3%が利率となります。
利息	借入金額に上乗せされた金額です。	1万円を借りて1万1,000円返済する場合、利息は1,000円です(この場合、金利は10%です)。

借入金の上限金利
金融機関によって異なる！

10万円未満	20%
10万円以上100万円未満	18%
100万以上	15%



② 利息の計算方法について

金利は「〇%」と表示されていても、実際の利息は日割り計算で算出されます。

1. 元金に利率を掛けると1年分の利息が求められます。
2. それを365日で割って1日あたりの利息を計算します。
3. 借入日数を掛けることで最終的な利息額となります。

利息の計算式・・・**利息 = 元金 × 利率 ÷ 365日 × 借入日数**（うるう年は366日で計算）

	3年後に返済したときの利息	5年後に返済したときの利息
年2.5%で2,000万円を借入	$2,000\text{万円} \times 0.025 \div 365 \times 1,095\text{日} = 150\text{万円}$	$2,000\text{万円} \times 0.025 \div 365\text{日} \times 1,825\text{日} = 250\text{万円}$
年6.3%で300万円を借入し	$300\text{万円} \times 0.063 \div 365\text{日} \times 1,095\text{日} = 56\text{万}7,000\text{円}$	$300\text{万円} \times 0.063 \div 365\text{日} \times 1,825\text{日} = 94\text{万}5,000\text{円}$

③ 借入金の返済方法



一括返済

借り入れた金額をまとめて一度に返済する方法

メリット : 利息を抑えられる

デメリット: 黒字倒産になる可能性も！



分割返済

借り入れた金額を分割して返済する方法

	特徴	利息・総返済額
元金均等返済	元金部分を一定額で返済していく方式。返済当初は返済額が多いが、徐々に少なくなる。	利息が少なく、総返済額も少ないのが特徴です。
元利均等返済	毎月の返済額を一定にする方式。当初の返済額は抑えられる。	利息負担が多く、総返済額は元金均等返済より多くなります。

④ 金利や利息における注意点



適用金利がいくらか

- 金利は「2～3%」のように幅を持って表記され、実際の適用金利は2.5%や2.8%など条件によって変わる
- シミュレーションする際は、高めの金利も想定しておく
- 利息制限法の上限を超える違法業者の利用は避ける



返済計画は考えているか

- 借入期間が長いと、毎月の返済額は少なくなるが総返済額は増える
- キャッシュフローが不安定なら長期返済、安定しているなら繰り上げ返済が有効
- 借り換えは有利な条件に変更できることもあるが、取引関係への影響に注意

⑤ シミュレーションツールを活用する際の注意点

借入金額・金利・期間を入力するだけで、毎月の返済額や利息、残高を自動計算できるシミュレーションツールがあります。

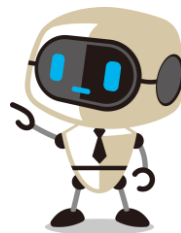
計算の手間が省け、返済計画を立てる際に便利に活用できます。



注意点

シミュレーション結果には手数料や諸費用は含まれないため、実際の総支払額とは異なる場合があります。

正確な返済額を知りたい場合は、必ず金融機関に直接確認しましょう。



最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会